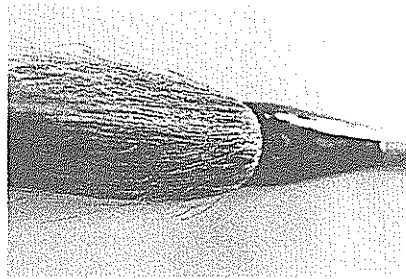




## これはなんでしょう



答えについての思い出などもお待ちしています。

### ご存じですか

#### 医薬品副作用

#### 被害救済制度

医薬品副作用被害救済制度は、医薬品を適正に使用したにもかかわらず、副作用による健康被害（入院を必要とする程度の疾病または障害、死亡）が発生した場合に、医療費、医療手当、

しめきり 3月20日

あて先 〒783 南国市大

地甲三〇一 南国市役所広報委員会 親子クイズ係

◎答えのハガキには必ず、住所、氏名、年齢、職業を書いてください。

■賞品 正解者の中から抽選で五人に図書券を進呈。

◎第24回親子クイズの答えは、ローソクでした。

第24回当選者発表（敬称略）

（応募総数37通）

高島君江（立田）、谷合弘行（大井）、岡本直樹（岡豊町）、岡崎淳（岡豊町）、大石誠二（左右山）

障害年金、障害児養育年金、遺族年金、遺族一時金、葬祭料の諸給付を行い、被害者の救済を図ろうとする公的救済制度です。

詳しいことは、医薬品副作用被害救済・研究振興基金総務部企画課相談係（〒170 東京都豊島区東池袋三丁目一丁目一サシヤイン60 二十六階 ☎03-9888-2101）まで、お問い合わせください。

### お母さんのシリーズ

## 就学前の学習について

家庭教育学級専任講師 田植 静代

学習と生活態度とは深い関係があります。目先の学力ではなく、将来につながる本当の学力をつけるためには、何でも自分でしようとする基本的な生活習慣がまず大事なのです。親は子供が顔も手もろくに洗えないのに、勉強ばかり気にするのはおかしいことですね。

本物の学力につながる習慣とは、第一が自主性、第二は読書好き、第三は忍耐力があるということです。自分の力で解決していこうとする態度や我慢する力が、学習での集中持続力につながり学ぶ力のついてくる割合が大きくなります。また読書は心を豊かにし学習の基本である読む力、書く力を自然につけていくのです。

就学前の学習方法ですが、できるだけ具体的に、心情的、楽しさのある指導がたいせつです。例えば、子供が自分の名前を

書きたり読んだりする指導のとき、親の書いたものをまねさせるだけでなく「名字は家族みんな同じ、名前はお父さんとお母さんが元気で良い子にと、いっしょうけんめい考えてつけたのよ」など、心情的な指導をしてあげたいものです。

五十音の読みですが、子供は無意識のうちにカルタや積み木等の遊具で、ある程度の平仮名は頭へ入っています。無理に教えこまなくてもよいでしょう。次に先生に呼ばれたら「ハイ」という返事ができ、また用事のあるときはそのことをはっきりと、相手に伝えることができるように、させておきましょう。

例えば、授業中おなかが痛くなったとき、そのことをはっきり話せば便所にいかせてもらえます。日常親は子供の言うことを終わりまで、しっかりと聞いてあげる態度がたいせつです。特に内気で口数の少ない子供の場合、親は子供のひと言だけですぐ応じることが多いのですが、子供のためには、最後まではっきり言わせることがたいせつです。